東海道中膝栗毛六編

十三下

へ13
3286
13

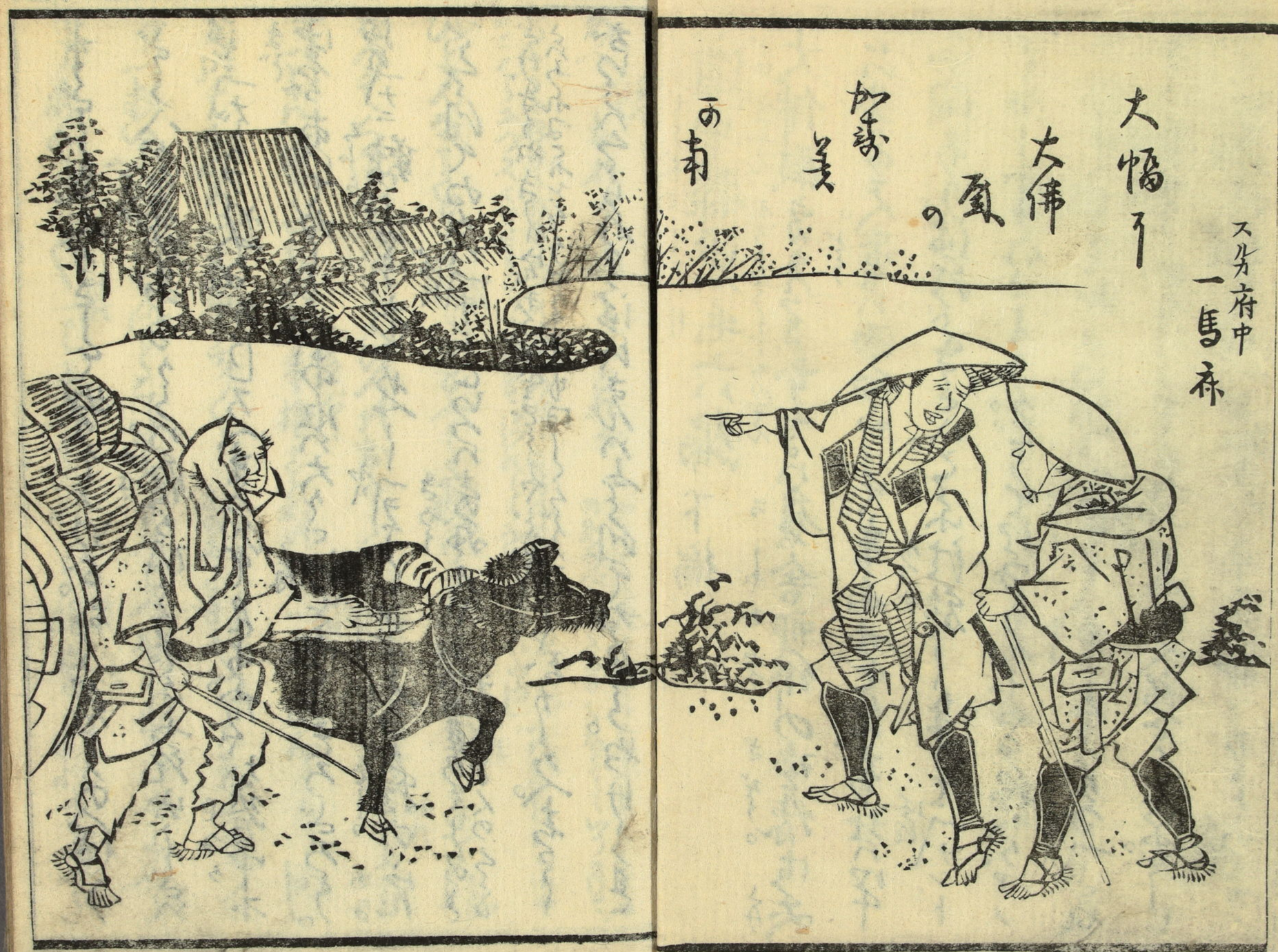
本清

道中膝栗毛六編 下編

大佛殿方角なる。おそるべき釋迦牟尼佛の坐像。法天
ムラ天三天人衆ハ西向ふして。東面せる。南北ハ平
面あり。近ぢかきハ。こゝ小法師ハ。まゐりて。ナント
なるしふきんとようぐるりと。アノ
こゝらてござるおきのひゝへ。ぐるぐる。ハ
きの金ぎんとおちゐどをぐるりと。
アノお鼻の穴ゝゝ。人ぐかさゝゝて出ゝるゝと。ヤアヤア

門 へ13
號 3286
巻 13

昭和十六年一月十一日寄贈
尼野貴英氏


大幅了
大佛
氣の
かすみ
美
の
南
ス分府中
一馬亦

まぶ〜も。人ぐさて出るう〜いぶ。おく〜ぐるうのぼう
ぶ〜へぐ鼻のあるうらへ。ぐるうらへ。腐ぐひ〜うぞふ元出し〜元
浦ぐ一だらアいよる。おらしろへまわ一て見よぷヤお背中ホ
ぐ一ぐあいてぬ〜ア一あ出へ大うと汲をふくことろぐろう。
浦ぐ一ナニ 難ぐやア あるめ〜一ヨヤく〜ア一レ〜ろんぐ程の穴
とぐ一てぬるへ一ホンニ こいろへまあ姉くト代出葉のそ〜ら〜ぐ
よみ。きうねき〜穴あく。果全ぐ〜やぐも。コリヤ ちかり〜ろへ。ちろ〜
ろれまこれとぐ一ぬる。ぞも。ぐ〜ろぐ。ぐ一ぐ。
おい〜へ〜ぐらぬるぐ浦ぐ。さんいよ。
ぐ一てかるうろ。ぬけ〜ま

ぬへ一浦ぐ おれぐ〜ぐ一て。ナニ これぐト ぐ〜ぐ〜ぐ〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちんぢ〜〜〜さんの人間〜〜〜しそをいかさてふさていへまのる
みあんとうちやちんさいこそさんせぎこぢんいて拙借て
きさんしてつもりとあ〜〜のかうへすとまんりぢよいらいの
やへちやうわぢこいつがちやんぢやぢ志しをれぢへいのちが
あるめへきんの一さんぢ。そこうぢうもぢ清合まんらいの一ふ田
人体一コリヤハア きのぢ〜〜るこんぢアのぢ〜〜ぢ〜〜へハアを國の
りんぢアう〜〜あゆもちう〜〜ちさ組へがかう組後きつせる
こんぢアあそのういの一てんさまをあいう一ぢふをあの人の

さそとうてぶあるちう〜〜いの一てきう〜〜てんを世人一八ハアをれ
ぢアう〜〜のちんぢアふあんでもあのふ〜〜の見のさんをさを
切割つせて山椒粒のう〜さきまつせさぢふ〜〜りでま
はんぬけぢんのし一八〜〜ちをや蛇が女ふんぢ時のこと
ぢろふぢふせそんなこであろふ〜〜おりろさ一コリヤ口しが
ちろんそそらいの俗ぢやろ〜〜あのさんの鞋を和〜〜ふ〜〜て
一八生をぢよろさんとうきんせちゆ一てまてうけさんせ
いの一さんぢ〜ちゆのウぶ〜〜ぢうけぢ〜〜一ちんの桶さア巻て

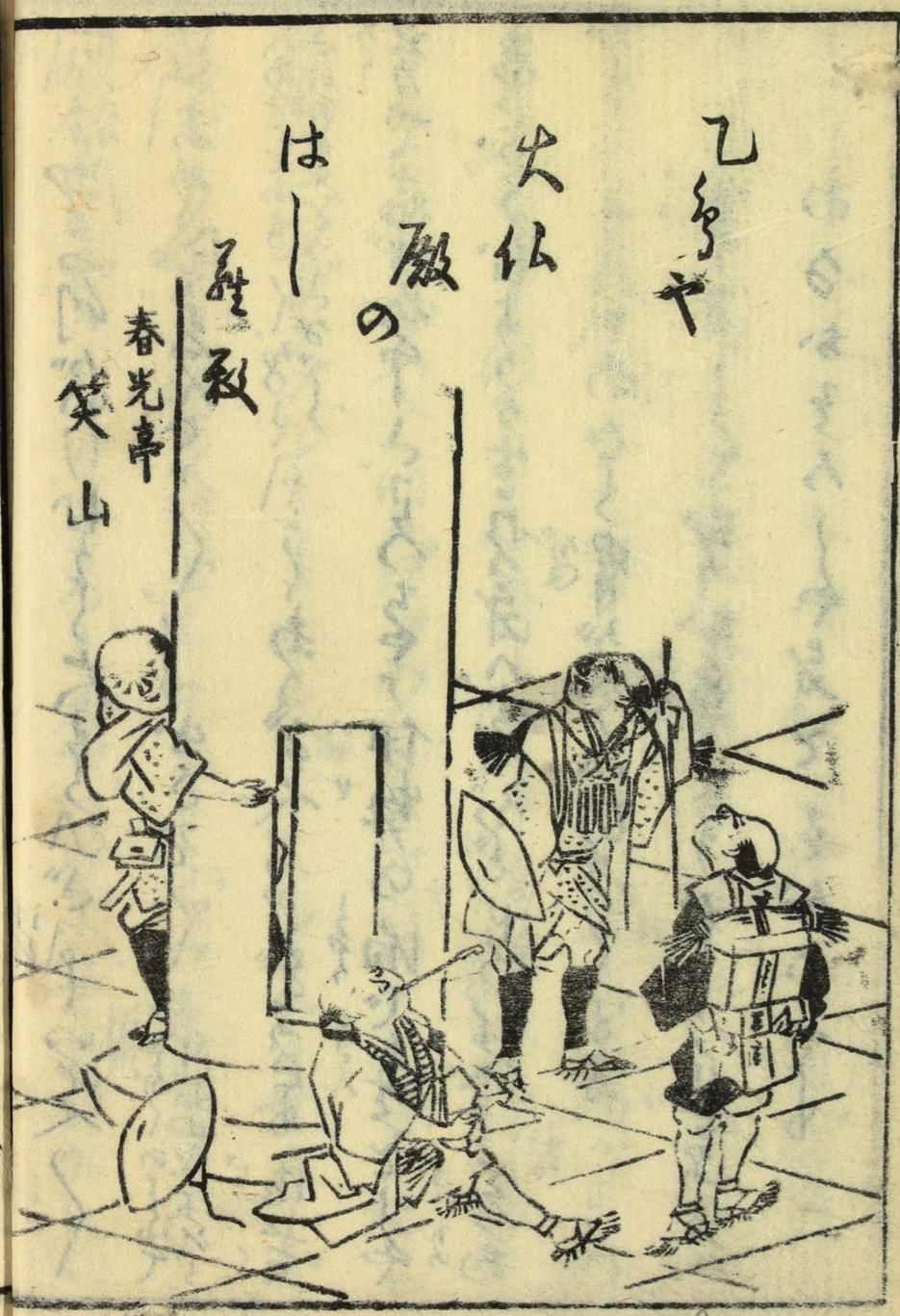
きちなさろ。てゝ
ぢ
ぢ
ぢ

乙ゑや

大仏

殿の

はし



かくよりく奥ゆきて大ひろまひろ堂内をめぐり。其三義堂堂の三十三間堂にて

つゝやくさう江五重の塔よりなをたん

三十三間堂のながさを

はかりよう。この内門ものと小へさきてゆくふ法華経ふ経くがふも都の風俗八男女しもこゝにちのく奉納渡

ぼゝゆしてゝる士為歩持ちでも法華布ゑの雅二八

きとおりやるふきちつしておのお夢をそこんなく

ちゑまさるもおろかしく。ふるうは無ふあんど。同ふんる
すめでふあづしくうぐうのくうち儀ふ法を謡うるく
らくのく
老ゑ者すまじ是をもーーー

ぢゃ一ぢ　ぼにじゃ　ゐい一ぢ　おきゝこそ　ぬのれ　ぢゃ　ゐ　しちゃ
ゐこらうゐ　ゐいうを　つきこそ　ゐ一ぢ　ぬいこそ　ぬいんまじゃ
ゐいぬを　でこそ　ゐ　ぬめと　ぬゐ　ゐ一ぢ　ゐこらい
ちこうちとしおつこじゃ　ぬこ　ぬいきこきこしこる　ゐ一ぢ　ゐこれ
ぬこうじゃ　ちゐん　ぬち　ぬこうこる　ぬこる　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ちゐんぎる　ぬふ　ぬこ　ゐ一ぢ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ一ぢ　ぬこじゃ　ゐい一ぢ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ一ぢ　ぬこじゃ　ゐい一ぢ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ一ぢ　ぬこじゃ　ゐい一ぢ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ

人一ぢ　ゐい　ぬい　あとふ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ
ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ　ぬこ

人間のきゃ　ふつく
だらひげとぬきく　一日人ちゃされ。あつちゃのころがぎーとも　あつい
かーじゃらいな　人間イヤとちゃのおこと　あつい頭じゃやいい。
人間　おもこ　その　頭で　おもひ出ーさ。おちゆいぞふじゃいな　頭おれ
あらいいな　人間　ハイおこと　げなふじゃうまと　こんこ　あいとで
あつこる。きのようく　あらう　ほるなつて　ゲイ　ゆ　あ　ちふ
まーこらいな　人間　ツリヤおちいは　悪傷　ぎゃあろ　四　襲れい
ろーじゃいな　人間　出ーおりまと　ことじゃ　あつこぶ　あらいろん
気ぶあるく　人ぶ　ちるさ　いこーも　ツイ　いて　人間　そりぐる

ふぶくふ　それまで　まで　まーこらい　ふて　まーて　ちき　ほーて　ちいの
ト　おの　人間　きのるぶいあぶろう　ゆ　人間　ゆふく　人間　おと　コリヤヤイ　まちいく　ろう
ちゃへ　ようく　ちゃ　日　雨ぶ　ふるつて　さむ　ちいこ　さらい　引て
よろこぶ　ぶ　ちゃ　人間　おの　ま　今　おれぶこと　あわく
ねーおつこぶ　ちんで　おれぶ　あわう　ぎゃ　ぞい　人間　あわう
ぎゃ　さらい　あわう　ぎゃ　ほらい　人間　ふわーく　ふる　ぞ　ふい
ほれぶ　あわう　ぎゃ　ほらい　人間　イヤ　とちゃ　あわく　ちん
人間　笑ぶ　ほらい　人間　ほれぶ　かく　ちゃ　あれも　ーこい　ほい

[illegible]

[illegible]

さいさい接ぎやさいやめふ〜てこまそよりの〜ら〜よ

おそるつこかふいんでこまそ〜あれもこれがいみくまる

たーやかぐふ。はれぐろていんでくまそるこいいかいあつい

てんまーぐやあつこあ〜あるこ〜てらうて名い見いやい。ト こぐひるあいさん

してこのさうつれぐもこそ〜こる。りんぐもこそ〜こ

ちりぐふこるこそりれ見ふこそ〜こ〜ふ〜こ〜ちるこ。

かこぐこりのいい見ぐるがい。あんるうまのろいけんこいか。

ぐこふあるりんぐ〜あのちんで接法とかんがへてやめふ

〜こうこ大ひこうひぐ

ひあこふのぬ　まと　都の　おのぐ〜こう

雲嶺　やるもうこと　よこ　ちう

かくこち　嶺ぐ　まこ　接　ちるこ　義別の　茶

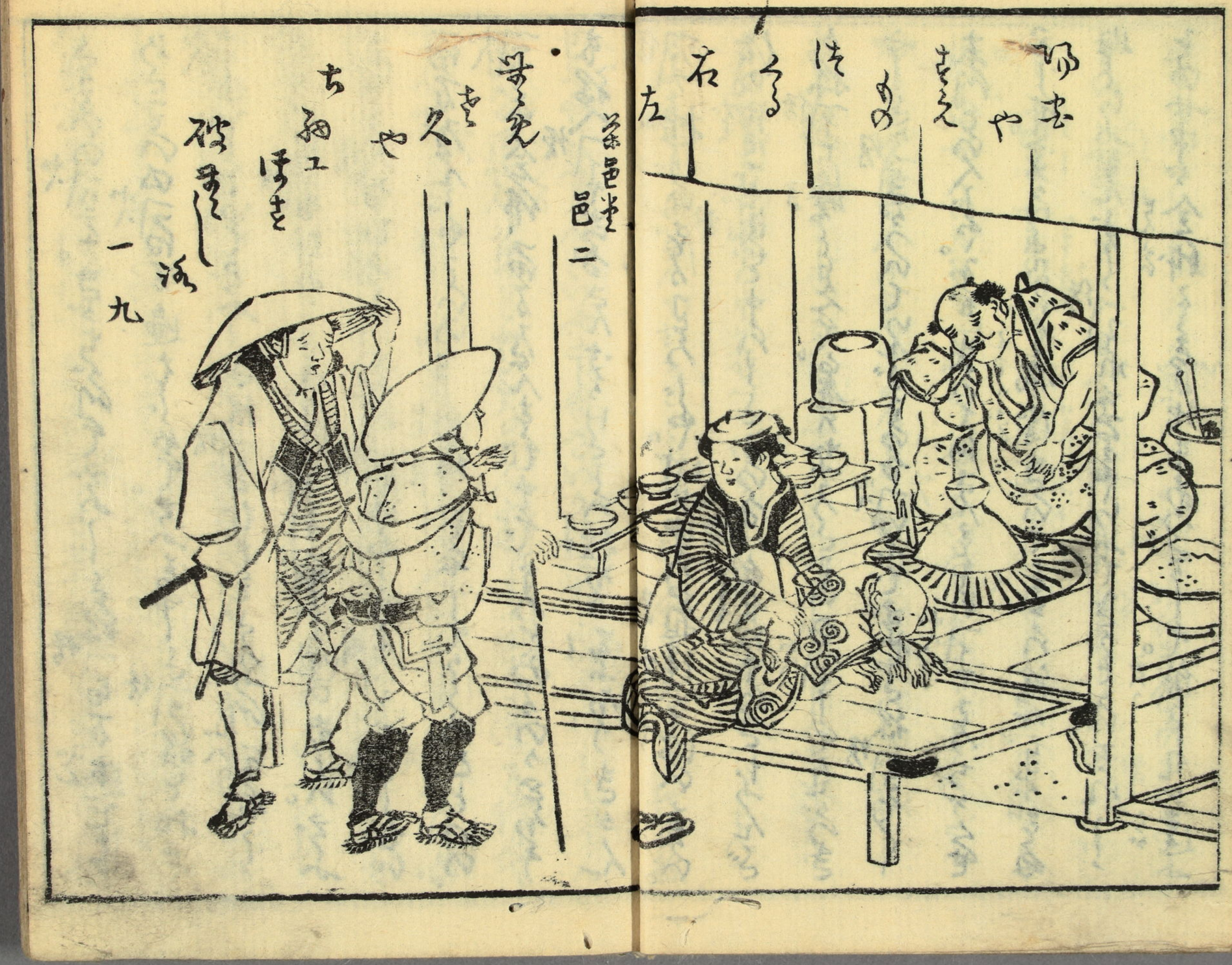
屋敷　ぐこふあ　能こう　面　朱の　家屋の　ち　嶺　こ　れ

まぐ。ぼこる　弾ぐ　〜モシナ　おこう　ちまこふ　茶ちや

あぐ〜てお出んいい　ちんぐ　ちんぐこんあぐこん

うしがおそきゝ　ちゝ　ちゝ　ち

やうなる〔ハ〕よく〳〵考へなければ。時世に任せまんらのうへさふ
きいく〔ハ〕金銭とさしてとぶらふべし。其〔ハ〕ふ〔ハ〕ハ〔ハ〕ハ〔ハ〕ハ


左
右
ふる
はな
ものも
きえ
ゆ
ゆ
ゆ

ゝゝゝの「ハテナ」。きづちぐ「ハ」てぐよ〜〜〜孫「ハ」百万遍とも。
わゝゝゝめ「ハ」百万遍ともぐ「ハ」てぐ。ぐかまゝゝゝ「ハ」孫を拝て
「ハ」ゝゝとゝゝてぐふ〜〜〜孫「ハ」なむあゝぐんぶ「ハ」ゝゝれゝ。
ぐふぐ孫「ハ」なむあゝぐんぶ「ハ」ゝゝ「ハ」百万遍のあゝゝぐか
まゝ〜〜「ハ」なむあゝぐんぶ「ハ」ゝゝ「ハ」ゝゝのあゝゝゝ「ハ」テせゝゝゝい
百万ぐんぐゝゝゝめ。てア。会弗ゝゝゝゝゝゝゝゝめとゝいの。
「ハ」ゝゝゝ会弗。百万ぐんまむまぐまゝゝゝゝのゝゝゝゝ
も孫「ハ」ゝゝまゝゝゝゝゝけゝゝゝ拝ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝん

せゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

へと下まど。ろちくよこせ。ハヤ二ハ。おきがあるかんろ。チャンくるま
ぶアく チャンくくくくトもちろうあるときこそ。内ぢの蓄傷
出まく。このてんとそてきも。そうぶし
コレナく。こどもようちハ。ごーくんしやぞい。幼化所ホ
あがりて。ぶさ飛はるト。ちのうれてあるうへハア。今の坊ハ。ぶく
りさ。まど中間向もきるなやうち。ハニ。蓄傷ちくのしや。
ちくとごこどやくおかそどやぞいハイ。てハ法ホ。あるり
さんの墓ホくけつくる。コリヤ。蓄傷おのれ。ちが。名まこてある
とくる。ハハ。ちがひゆくこ。山ろ。ハニ。蓄傷ぬくくくるやう。

ろくくぶ。出ているんくいこてい。ハ法。折敷ホ。にやぞ。トさんざりホ。いろうちろ
てようぶろうきて。出おひきちよこ。ハハ。ばくふうあが。えんざめこ。ぶ。
二人ハろうく。このなとありこて。
新墓くうさんざ。ぶ。ぶ。ぶ

かくてそのもとやセッけとおぶ〳〵ふ長ぶいそぶて二変ふ
宿とまろうんと。ろとそやめりの向ふより。小役樽と。大根
とそのひとる男一大こんハ役者よ〳〵一〳〵〳〵竜茄子が
笛とあるとこんせものハろとぶ。大こんの小役まるのハついぞ
ろんとるが孤へあれがかのちやの根と小役と。ろ足ふまとる
のごろう一おつきる大こんと。小役者よ〳〵トよんでゆくこ
ちらげんらしき者ゑ一コリヤ〳〵。ろらふろうぶでふだん
れのおとこげやろ
ーそやろがその大根ニなる。おくさんハるマア。こち来て

ーてろんさんせトふたのけてよへろろとうれそゆく。はてよいにろがら出ろ
ふたゝゆれ。ふハこれとろんそぶふまるのごまろんと。おとろう
ぶるろろ。ふ一サリ。ちんせんこいるトふぶんこでとちろ〳〵一人の男〳〵アリヤ〳〵ー
されやろろいトこのざこのうちくれろうねぶんふぶんしそへかよ足ぶで
ちろとこてとりとこでとろげろて
出んのろのよ一うちごやよ屁ぶ出ろろう。かふ小役へそれぎう
おやろいるコリヤあんろいまこ度よふ数をふのてろさんせ
ハテ少役くまを孤ておいてゆせろぶでいあろ〳〵けまろんでのけ
ところるこ一れぶやたこんニないよふやれんろいる。二なりて
んせ一コレ小役いまくるまそもこちまろぶのハまろまのぶろ

ヨいよその茶粥だろう。咎てゐるのとちがふて。ごいちゃ肉
だろう。くそゐるぐみこれぢやて。あんまり ぢやヨのる中乃ハテ
やらまちういんさる。うちへりてらんでゐまぜヨや。三年
だろう出たなろでゐる。たやう三年くきんせく中乃そない
ホ。ムせくとふふて。これでくきるりんちやちんヨいる。
ててて入いて。ちやちふとめんでまて。まちくやらんせく
ト方ハ久しいのふまるとやろハ中乃モレく。さんといヨちがふ仮く
おろしくやそおろしぐ。きさハ小ハモレく。ぶーつけ
ふくるつさろ。ぶーつけ 五漢 ゐぐろ。ちやへぐさよとちやせう。これを

とて。大抵ろこりゐせ中乃へ。ちゐ公ざーんちろさぶけるふで
ざうまちとぐてれぢやおきめぐくさゐじやヨのる小ハテて
ヨる。ぶゐせ。ヨろちもあうちあいせさりんざろう。あまう將
さう
おちあど中乃へ。さうよちろう。ちゐ小仮いぢきまちよりいる
トせうぐんさを小ハのまてりうてまうゐをを小ハイヤくやつぷうてれ子おきるせ。ヨろ
ちぐのハ一二間つ仮へたしおきまさ。こりやきよヨいく。
イヤちまいのハ花でハちんぐんヨろくゐ仮ハ空ろ糸ぐよごぐ
ヨまさと。花のいうさふて稲ちぐちゐんハもちろとゐいと。

まご出さりのを。ろちい生れついて少仮ちいろ。五郎
少仮捕を。菊ふりけてあるいと出さ階そやおろ。
ろいろちや一さよちろおまい。ぶさごを。菊ふりけてお
いぞろいる。こしやどこまでもお俳ていこいるイヤ
ちごろいそのよふも祖のさ一ちつれさ及もあるそふちや。
モレおまいもついでふまあしてお出んろいるイヤ見しい
前ろいいちどそよ小仮のさ斗や二年まるぶんい。祖
ろら苦ふもおりいちんざりのごぶ。ふしこそやろ。きん

ぶいい小刃づまろでぶろもぶ出ぬふいとまろうまそる
一ア小刃づまろちろ。ろいとぶあるいいいいいふよふ
ちるろちや一ごふまるくよくちるの一ア湯を。ごで。
湯の粉の呑口ろ。おりよ。ろうよ。湯の出んとぶあるりん
ぶやろいるそろいるくぶいい。粉のろのろ。雑りにして
ある
穴おけるこ。ぶぶよりろ。ミウくくこ湯ぶ。ぶしろあ。や
ぶろい。おまいの小刃のつまろんしとのも。鶏ぐちく雑
りろさんろろ。きぐふ小刃ぶ。ぶ。ぶ。

ぶべ
ぶべ
ぶべ

おどるぞ。それをひとりゝゆきまつるとッイこゝをの橋ぢやいる
トいつまい出ずるこの女中ゞ人とぬしもあるもいなどちしまらさるの八ハイとゝへ
おしまこしかるとゝ日ろくひやるまをゆゝ女業の道をこゝまてもしゆ
みるごとふごぎりやをトゆもちらゆべれをつてゆ出ぢぐゝくゆきまぎこらゆ出さんアりやア
ちやんごろうどうてをなるあるうふうるあごもぐ八ハしこんぐ
やまくこうあいうハまやアぐこどうさこしめトこれとやが
ひるこうちまをびひごうめこ人ともりられるるをドとこゝを見わく八モしく
こうくもやくもるこのもゝふいうこ出ぢやロこれてこうこうの人
ある谷のこうこ人ゞこふまいうまをゞ八ハアつどゞ牙者の谷人
いきふうるゝ出こうとをぐふいきるゝッイまる谷人出者

ゞふソレ牛んごろ都ていきや牛のこをとふんづけこう。
えまを
きまを出ちゝふふふていきを手れこうこの人八ハイこゝをんごいる
ものぬゝよふゞやこるあんごゝめが八ハあんゞゝこゝ人
のこゞろときくこうりこて出るのゞ兵八ハイ牛紙をかくを出るい
ごこるゆ出ゆこてこまをこハトけ男のこれゝこるゞこゝこゝ
こゝふ出こゝゞゝとこゝこのいひこゝこのこゝこのこゝ
まりこうこゝきこりのこもるゞゞ八ハこゝこゝこゝ
各出人陸こゝこゝ出辞ごゝこゝふるこゝこのるゝこゝこんる出人
こゝこゝ八ハイ・ヤこゝ出るこゝこゝ人こゝ八ハゞこゝ

ぞい「イヤ孫のりめでごぎうやを」「ふうびのりめちう」宿が
あろう。ソレねらーしさまと「はい」「ふうもうーけ」「ふうみゆふ」宿とところふく
いんのでごぎうやをと「なほねうまとぞいさ」「ふうみゆふ」「ふ」の「ねのころ
ちゆい。ところそうへ今ふうみゆふの編笠うーふ」「出て」「あさりの」「者」
とていう。ふのもーまぎやうい「ヤ」「とうへ」「ふ」「ふ」「でいへごぎりやせ
ぬ。ソレうんや小八さうきのはじもがうんごをうれいとちーへ
やアがいさ「まきな」「ふ」「ちへ」「ごうーうまうのさや」「まさよ
ごのやうそう「ふ」「ふ」「ふ」

ゆくも爲あへなし。まんなとふ。そんなるものもがぢで袴へ
ゝ。さいりんらいなゝ。さいりんこんさいろうぶ。こんいっぐ。
らくやのおらなりなるらいなゝ。りちろんさ。ぎぐ初兵。
さえぢやさいり。七文ゝおらんかいなゝ。ゝ。のお山へ出切て
ぎらうゝ。ちろぶ。ぎ分ふまゝ。袴へ。袴ゝ。ぢ。ぢ。ぢ。
ちゝろこまりゝ。ていろを。ぢで紫ぎ。出縁が袴ゝ。あき
らめよふさゝ。よどさうまき。おろうり。ぢされゝ。ぢ。ぢ。
ぢうぐ。ちゝなさんもふろうあゝアトこのちゝあぐゝ。ぢが
こちいへおんるいぎる。

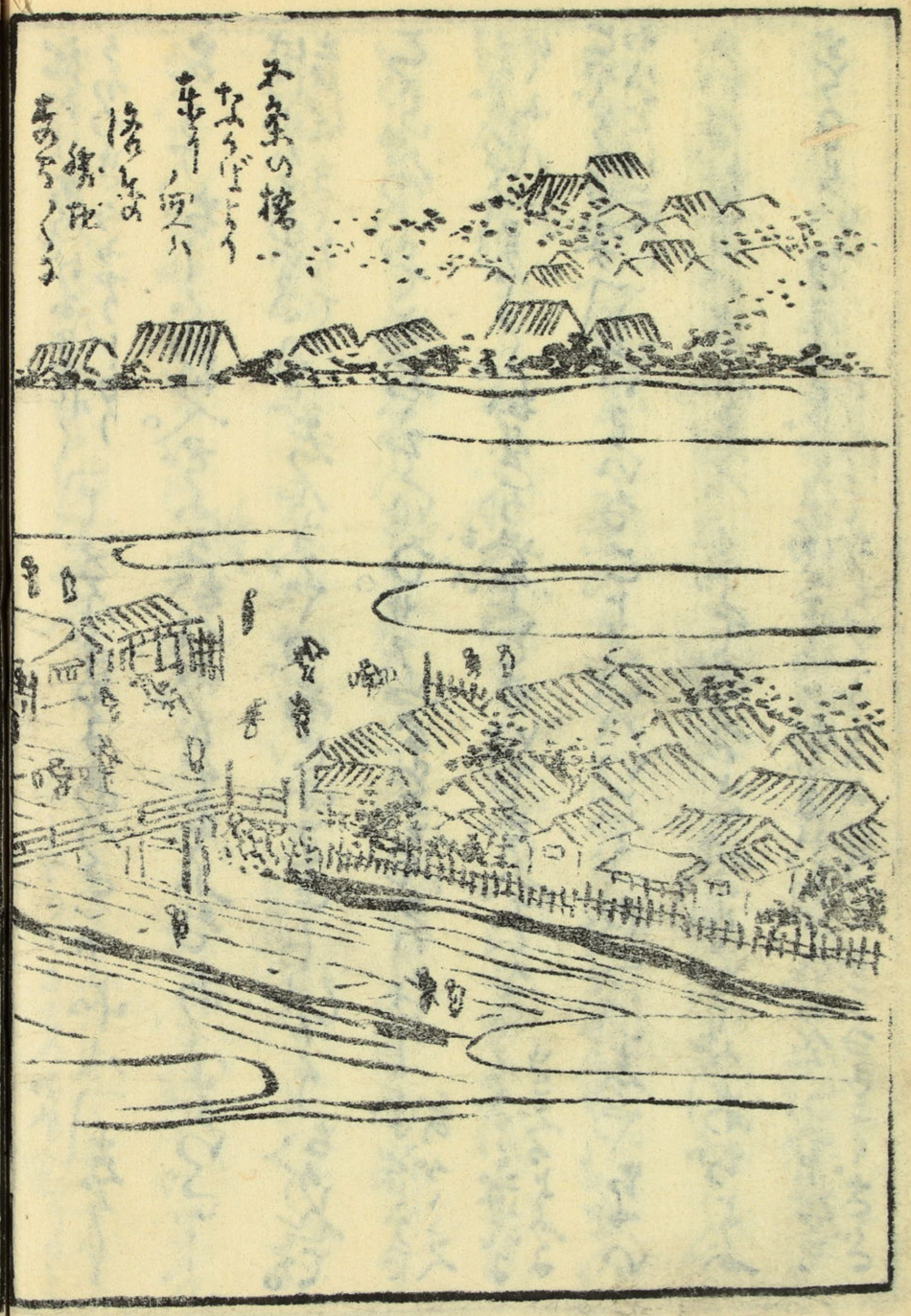
ぎうのひろきこちいぎ。ゝ。ゝ。ゝ

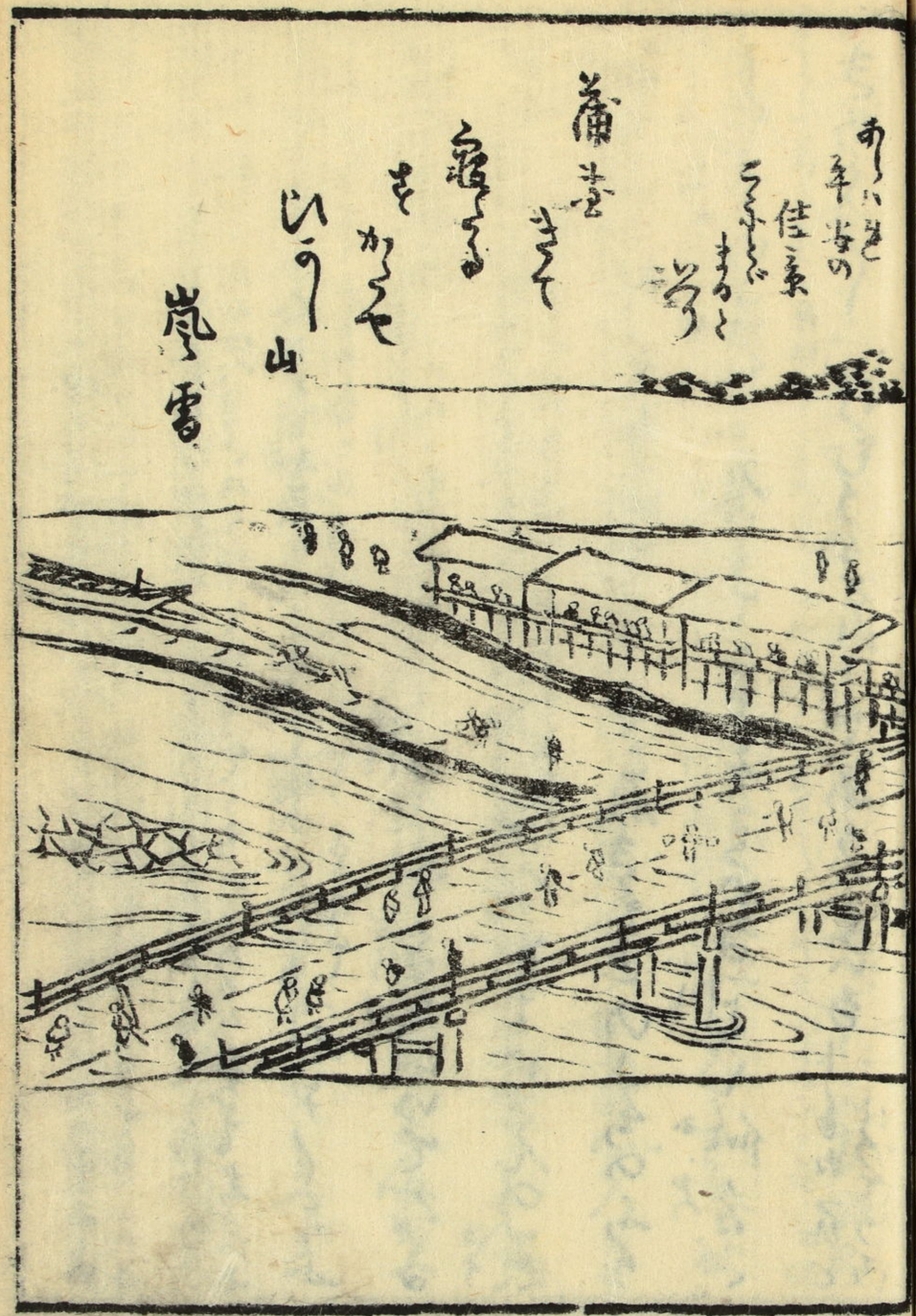
さーひとつあげーんらいな。そふさ。酒がたべくのこえの
そよらこてやろうらいな。お者ハ仏ハ
がちいーのーどやないいなかーやナ。かちんちんだが悪いと
ーうそんでもかぜでもこんちやくハ祝へやくしてうんち
ーいつきホさんーどるこらみトはかやあ
ーどこそらどー。あんどうのこそへよりうとこ
ちさーしこ年ぞ一人まへホひーつーひろぶさあせかち出さ。
ーちんぐ。大年と人別割ーらめづーしい。あーあーだけ祝へ
ホざときーつーどーらハ又ぞーせーぐ。ハ白ホハやきーい。りんぐ

トはホーろハさけもさるみもあげ代のハ
うちぐーちーちーひむーゆうホやきーとかるる
ハハ。そどめよホ。ヲトーこ。ひーろハちんぐ。ハ。ア
きここぶ。ろちでハちんぐ。ハとやくくく。ハ人で。まろくろホ
こげてあーこア。ヲホーこーつりヤあの祝へ。ちんぐ。ろいる
とて。祝へこをいるぞうホかちへはかるぞ。下ア。ここ。おりれが
ろこあろハ。ホまちめてマりよ。ちこ。ホとまるぐ。ハ。ア。かちん
とらハきらここも祝へ。どんるあ者ぐの。ヲ。せーこ。あるもどや
ろいる。ハ。ホ。解。ろ。ドレーくーア。こ。ちや。解ぐーく。ハ。おきやア。こ
上ーろかのハ。ろがきーろ祝へ。ほのち者ホちちハぐ。ぐ。ぐ。ぐ。そで

汁ものゝうへ[金入]のおさるゝ。らさてさんじゆうこいなト
トさぶ[illegible]ぶ[illegible]ぶ[illegible]

ちのわかい。京のかのいあそこだけ紙。京の方のいあそこと相性者ぞ。
らうそくさだうけるとさア紙。こんなかのいまけわかて
おきるせんさ（ぜ）。京のかのと見るうおきあんをおきまい
さんが書（ふみ）こいやといるおそ。とだうのらうそく代。まけ
いのちんのこおきあんをこんないちいをそこそこるおうう
ちのきれこあしこだこういのやきいひとおきあんこくこて。あ
うんとちやかいいるこ（ぜ）ちんどうるこをかはいきる。
せーこんこうひいまけるせんこーーー




蒲壽
山

まあるはくのごとく。中みつは吉原はいと大ぶ。まあるきいのかきまろめきさこハまきものとねがせてゆくう。おのれもおびとときそ。きくハふおのがきものとうちらけ。さるがらふるるどうくもしけるこゝにみかてるしかるゆへきさこハうつをねうてうちて。ゆるがあつも。まづいかけゆくまくふたのそとがえものさこくはのうたこも。まこをくうふたくはのうたこくうるうまさ。吉原同さ。はまて。

ぞくやる。ハ。ゆくあんぐく。吉原。こくやをあふいてくるぞくと。おきあがうくるがまくてすくふわうくはて。おまいさんの。ぎくあがきこハのきものをきそ。ちびと川メ。

あちこよくかくておくれやつ。ものこくやこれきそこのこちのふりそ。下の元とぞ。ものこくそこまそこいる。ハ。よく。仙。含こ。

きやうく。吉原。はもむうがこれじゃあんこをトはねがびをうちうちうがうるが。ハ。ハこれより。祝もゆうむ。中ものどうせ。この吉原ハ。ふくこふまくむをこそハ多ふあふまもあやこ。まがくくまもつくふくやこちのるもうがくあるもあけるハくもとるよ。ハこくるもて。むくあふまもくくく

きんのようきそいこぞいるゐ下へいつてこんなとぐるしそ
くるくるかくてくれろといろくるよつて一そめどかくねさろこ
のくらなそふさ時はそのおなの欠落きこころちゃア
きくく稲へろくく。ちんでもその抱くるちぐくあるゆへ。
きものはぜひくも衣の内くふぞそしそかくふやきうう
稲へくく。下へそふいろてくんるせべとやくく一ちんま
いくせそるいふや出せくく下へおくるくしとおぐおくこのこも
でろくくとせしく大男ぐまくくおんおくくくこのこも
どやくくこういへまくくていしの小ハぐまくくりくふくるぐく
きくもんくしくくといふ日とくるくんくふるゆおれくく
ゆこれくふ。ゆくくるゆるくきこくるゆ。おきくくれと歌
ゆくせきくくせゆゆとこのきこちめくふゆゆでおまくくゆゆ
ゆきゆアくるゆ。ゆくくるゆ。おどれ意味ゆきくう
ゆんくくて欠落させおくくくゆゆくきゆゆきくてけつくる
ぐきおろ。おくくいふゆぐゆゆゆくくゆゆ。えんぐくくとくゆ。
ゆゆおれゆきるゆのくゆやくくくくゆゆゆくくくゆゆゆゆゆ
人ゆくるゆのまれて出くくくくく

まさちよ。おつふいひけとをろ分へ瞬（あご）そこまち分。ちやびらこ
おろせ　ト　こまく、こまうれ八とをこれよまとる。こんどこまふ
（法師同じさま）（この云ひとうんそこまかきをぬこ出へ）（ちやくあれが
つかごが。うあつ山男とぞ。ふまつの一ちいものとうきのうへ（イヤこ分やう
も同笠ぢやあろ。ふこうもふひこうきト　いつかもはちうう
（ちまう）（ちまう）（ちまうこん）（あこりのこも法師）
わ八こまあかくくしこそこだ（おあ
まこ法こまこうこふ法こしこ八こ
小八ものいまこう。ぢまふこまのとう
こうこうぐらる同ふあひ公中れ
らふ。ふこれこうめんぐくふこ
ぢまいふきまこうこふこれもの
きこうこうこ
男　ふこ八一日ーや今きこ
ぢ。そのまこ八こまこうこ分へ（あこ）ふこうこふい
こまこの同笠をうんでわづけこんせ（法師の女ぢこそこ
つきこしてかこまのうこちをえいくこらの（リヤきのこくる
（ちまう）（ちまう）（ちまうこん）（ちまう）（ちまう）（ちまう

だろうでござるこどもいうけたまはりんぞうぞあるまこの
おさうなんでござるとうとうとうとうとけてちさんまをこまと
あいせておくこうとうとうとうと

えんじ。アイタ〳〵「ちやう」ぐらいちう〳〵。綱中の縄と。もち〳〵
ぬちう〳〵やろうい「イエ〳〵」ろうちが者〳〵いぢんくおどんと
おさんやりまとうぐふでは縄ていてちやうまを「ア〳〵」十吉
ろりて拾ろうちやく〳〵ふ合ちやう〳〵ぢやろい。勘ちさんゆるして
やうんせ。ろう兵敬ちへ者〳〵いあをうぢやぢやるみど吉
ぢあるよろうされんさうてきうちんかしさまでのとりちや
あろぢいる「ガイナをるいふいいんをまやいさ多ぢふも
えんとろうまちぢやぢ〳〵とものてもあちやせまへいる

してやろういる「ヤ」それいあぐ〳〵ふごさんやをぐろうちやアけ
たぐうのまでけて〳〵をやせん「いなヤ」ちんきるく。
おちちふもいひぢんうあるさろうい「イヤ」そんちや〳〵めろうやせう
「ア〳〵」十吉いをんせあさあやらしい「ぢ」やろうるトおさうぐふのをとて者と
強く「きこと八まめのおぐげでろえんごめふあろこ「ヤ」おんようろう
あ〳〵アけろうり。きものとさろ〳〵まて。パ〳〵「ア」さめてさむく
「ぢ」「ア〳〵」あんまりかろいそやぢやぬるとーまいぐれてやろ
うい「ヤ」あ〳〵ぐさ〳〵ぢやとぐんるものでもぞふぞいいぐで

本清

うゝてちさん文せ〻ア食こぶれめぐつてよりみことぬうゝけうゝる
てきふ似合さよふよ。納屋の孤一まいもて来てれた
下男イヤこゝふきのふの佳ぐまるこれきていうんせ〻ア二それと
きろとうアて情ないとうふ〻せうゝくのおまぐ〻ぐしおや。
さているんうい〻イみぐふぐきんやさぐうさゝゝやちり。
たうぐかつてざぐりやを〻げ〻ぐんのうういおとこぐ。
おいうぐ合相そうゝてやろゝト海ゝゝぐ。もめんぐうをとうて。
うとゆしやういさる 恥も 赤 たぐう

合相づゝーき ちとうふれ
たてふ大うゝひくちうふうふまりくのこをいをと
のぐれうち出るゝちうゝ

六甲